



データシート・エージェント・IDP AGENT

値を今も手で入力していますか？ すべての項目に出典が付きます。

IDP Agent は、請求書、銀行明細、契約書、帳票から指定された項目を読み取り、各項目に元の書類でのページと位置を付けます。項目はご自身の言葉で説明するか、テンプレートから始めることができます。経理部門、法律事務所・税理士事務所、開発者向けです。

概要

項目を構造化データとして出力します。各値には型、ルール、出典の位置が付き、表は行ごとに出力されます。必須項目が欠けている場合、書類は確認に回されます。

01・概要

書式はすべて異なります。 項目は変わりません。

仕入先、銀行、官公庁は、どの書類も独自のレイアウトで送ってきます。値を手で入力する作業や、送り主ごとにテンプレートを管理する作業は追いつきません。IDP Agent は内容をもとに項目を読み取り、各値を出典の位置とともに保存し、不足している項目を示します。

入力

PDF、JPG、PNG、TIFF。Workspace、アップロード、または REST API から

結果

値、ページ、出典の位置付きの項目。表は行ごと。JSON、CSV、Excel に書き出し

モデル

Basic から Ultra Pro Max までの 9 段階。エージェントごとに最大 200 項目

利用方法

Web アプリ、REST API、MCP。すべてのプランに含まれます

**ご自身の言葉で項目を定義**

各項目には、「請求書の総額」のような自然言語のプロンプトに加え、ラベル、キー名、カテゴリを設定します。

テンプレートまたはサンプル書類

銀行明細のテンプレートなどから始めるか、選択したサンプル書類からエージェントに項目を提案させることができます。

項目ごとのルール

日付から IBAN まで 15 種類のフィールドタイプ、特定ページに限定した検索範囲、パターン、許可される値、値が欠けた場合の扱いを設定できます。

各値に出典の位置

各値には、元の書類でのページと位置が付きます。データ項目では、その値を抽出した箇所の文言が値の隣に表示されます。

表は行ごとに

明細や取引は表として読み取られます。ボタン一つで全行を Excel 用にコピーでき、例えば領収書との照合に使えます。

必須項目の欠落を確認

必須項目が欠けている場合、選択した確認キューにタスクが作成されます。IDP Review の画面には、未入力の項目がある書類がすべて表示されます。

02・仕組み

一度定義すれば、 どの書類にも使えます。

IDP Agent には、項目、ルール、モデル、出力言語を保存します。保存前にテストランで確認し、その後は 一件の書類にも、多数の書類にも、Workspace内で自動的に実行できます。

1

エージェントを作成

サンプル書類を選択し、**アクション>エージェントとワークフロー>IDP** から **新規エージェントを作成** を選択してください。テンプレートを選ぶか、項目をご自身の言葉で説明します。

2

項目とモデルを設定

項目ごとに型、プロンプト、ルールを設定します。**AI モデルを変更** で、項目数とページ数に合うモデル段階を選択してください。

3

テストして保存

すべてのテストを実行 では、項目ごとに結果、信頼度、ページ、出典の位置を表示します。ご希望の場合は、連続して最大 10 回まで実行できます。その後、**保存して閉じる** を選択してください。

4

適用

データフィールド タブでは、一件の書類なら **エージェントを適用**、多数の書類なら **アクション>エージェントとワークフロー>IDP** を使うか、AI-DMS の処理後にWorkspaceで自動実行させることができます。

技術データ

機能	詳細
入力形式	PDF、JPG、PNG、TIFF
モデル段階	Basic、Premium、Ultra（それぞれ Pro と Pro Max あり）・最大 10 項目、25 項目、Ultra Pro では 200 項目
フィールドタイプ	15 種類。テキスト、数値、金額、日付、IBAN、住所、表、バーコード、QR コードなど
出力	value と value_raw（ISO 形式の日付、数値としての金額）、ページ、バウンディングボックス。JSON、CSV、.xlsx に書き出し
出力言語	抽出する値の言語を選択可能。数値、日付、通貨の形式も設定できます
REST API	POST /documents/idp-agent-run・アドホック: POST /job/add/workflow、template=document_idp、idp_collection 付き
MCP ツール	po_documents_idp_agent_run、po_documents_idp_collections_list、po_extraction_*（テンプレートごと）

03・実際の活用

固定の項目が重要な場面では、IDP Agent が読み取ります。

税理事務所の銀行明細

銀行明細テンプレートは、口座名義人から期末残高までの 13 項目を読み取ります。テストランでは 13 項目すべてに値が入り、8 件の取引が日付、摘要、金額の表として出力されました。

n8n からの請求書

n8n のワークフローは、すべての請求書を `idp_collection=invoice` 付きで API に送信します。テストでは、三つのレイアウトから仕入先、番号、金額、支払期日が返されました。テキスト層のないスキャンも含まれます。

受付での定型項目

AI-DMS は書類の種類、送り主、期限を認識します。IBAN や注文番号など、出典の位置が必要な定型項目では、AI-DMS の処理後に Workspace で IDP Agent が自動的に実行されます。

よくある質問

テンプレートや学習データは必要ですか？

項目はご自身の言葉で説明するか、サンプル書類から提案させることができます。請求書、納品書、銀行明細、身分証明書、米国税務書式を含むテンプレートカタログが出発点になります。

値が欠けている場合はどうなりますか？

項目ごとに決められます。確認付きの必須、確認のヒント、既定値、空欄の許可から選択できます。確認キューを選択していれば、タスクが作成されます。確認タスクは Professional プランに含まれます。

エージェントが確実に読み取っているかは、どう確認しますか？

テストランでは、項目ごとに結果、信頼度、ページ、出典の位置が表示されます。3回、5回、10回と連続して実行し、値が変わらないかを比較してください。

エージェントは自動で実行されますか？

はい。Workspaceでは、AI-DMS の処理後に指定した順序で実行される IDP Agents を選択できます。書類の種類ごとに既定の IDP Agent を設定することもでき、その場合もそのエージェントが実行されます。

はじめに

実際の書類で最初のエージェントを作成しましょう

app.paperoffice.ai でアカウントを作成し、書類をアップロードして、**アクション・エージェントとワークフロー・IDP** から最初のエージェントを作成してください。料金は利用量に基づき、モデル段階によって異なります。

paperoffice.ai/ja/ai-idp-intarujento-dokumentopuroseshingu-tomshon



モジュールの詳細

paperoffice.ai/ja/ai-idp-intarujento-dokumentopuroseshingu-tomshon

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase